

静岡市立静岡病院 (静岡県)

病床数

561床 (一般555床、感染症6床)

病院の特徴

静岡市立静岡病院は、130有余年の歴史を有し、地理的にも市の中心部に位置し、25科、561床を有する総合病院で、急性期医療を担う静岡市の中核病院である。歴史と実績の有る循環器科、心臓血管外科を中心に幅広く高度・専門医療を提供する一方、市医師会と協力し、オープンシステム、イーツネット (二人主治医制)・オレンジカード (24時間緊急受診システム)、イエローカード (在宅療養患者緊急時受け入れシステム) など特徴ある病診連携システムを構築し、救急医療についても、政令指定都市の制定を見据え、新静岡市の救急体制の中で中心的な役割を果たし地域医療体制の充実に力を入れている。

医師数

117名 (2007年4月1日現在)

初期研修医定員 1年次

単独型 4名 (2007年実績) / たすきがけ 4名 (2007年実績)

// 2年次

単独型 5名 (2007年実績) / たすきがけ 6名 (2007年実績)

処遇

月額平均298,600円 (基本給+地域手当)、通勤手当、住居手当 (医師住宅以外に居住の場合)、賞与 (3ヶ月) あり 時間外勤務手当、当直手当、公的医療保険、公的年金保険労働者災害補償保険法適用、医師賠償責任保険有、雇用保険、医師住宅あり

研修プログラムの特徴

当院の臨床研修体制は、静岡市地区の豊富な医療資源を活用し、当院を管理型臨床研修病院とし、市内4精神病院、市医師会診療所、瀬名病院、国保井川診療所、静岡市保健所からなる臨床研修病院群で構成されています。臨床研修プログラムは、1年次、内科6ヶ月、外科3ヶ月、麻酔2ヶ月、救急1ヶ月、2年次、小児科2ヶ月、産婦人科2ヶ月、精神科1ヶ月、地域保健・医療1ヶ月、選択6ヶ月のスーパーローテート方式です。選択6ヶ月については、既習診療科の再履修を含め、専門7科について、3ヶ月単位で選択研修できます。救急については、特に力を入れ、1ヶ月の救急専従研修以外に、1年を通して毎月3回研修当直に当たります。指導体制は、経験豊富な指導医がたくさんおり、マンツーマンの指導を行っています。また、シミュレーションラボを設置し、基本的な手技の修得に利用しています。各診療科のローテート研修と平行し、毎週月曜日朝の全研修医のミーティング、毎週水曜日

朝の研修医対象のミニセミナーを始め、救急セミナー、感染症セミナー、プライマリーケアセミナー、トリアージ・災害医療訓練、など、院内研修行事を取り込み、研修プログラムの内容の充実を図っています。当院は、京都大学、浜松医科大学の協力型臨床研修病院でもあり、それぞれの大学からの研修医と交流することも有意義なことと考えます。静岡市は、新幹線を利用すれば、東京、名古屋1時間弱、京都2時間弱と交通がとても便利であることも意外と知られていないことなので強調しておきたいと思います。病院職員一同、熱い思いを胸に指導に燃えています。全国の医学生の皆さん静岡病院の臨床研修プログラムにチャレンジして下さい。(研修プログラム責任者 平田健雄 呼吸器科 京都大学 昭和48年卒)

指導医から学生さんへのメッセージ

本院の内科系臨床研修システムは3つにグループ化された専門科をローテートするものです。私の専門の血液内科は消化器内科とともにBグループを形成し、同一のフロアで2ヶ月間の研修が進行します。造血幹細胞移植などの専門的治療も実施していますが、1年次の研修医の皆さんにとっては、化学療法時の末梢血管確保、点滴回路のセット、注射薬剤混注などの初歩的手技の勉強になるほか、不明熱、リンパ節腫脹、各種貧血などプライマリーケアに役立つ症例を経験し、考え方を学ぶ場が提供されます。スタッフは専門科であると同時に総合マインドも持っていますので、診療科、年齢、職種の垣根を越えて病棟内では和やかに相談、助言、指導が行われています。内科認定医資格取得にも役立つ症例豊富です。静岡は東京にも近く交通至便です。皆様がた、ともに医学を学び良き医療を推進していきましょう。

研修スケジュール（年間）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修科目名	内科						外科			麻酔科	救急	
担当科名	選択科目						地域医療	精神	小児科	産婦人科		



- ・ERでは、様々な疾患を経験し、分からないことがあれば、すぐに上級医や専門医にコンサルトできました。
- ・内科が全科そろっており、研修医でも専門医にコンサルトし易かった。住居等、研修医が仕事をする環境が整っていました。

2006年度Cプログラム 研修医